

第11回 会長の時間 田原榮一ガバナー公式訪問を歓迎して H28.10.13

本日は、国際ロータリー2710地区ガバナー公式訪問として田原榮一様をお迎えし、例会が行えますことを大変光栄に思います。随行幹事として広島中央RCの吉川恵様、再度足をお運び頂きました萩RCのガバナー補佐・田村充正様、ならびに萩RCガバナー補佐幹事・荒川光雄様におかれましては、早い時間からお越し頂きありがとうございます。なお、例会前に行われましたガバナーとの会長・幹事懇談会がつつがなく終了しましたことを改めて御報告いたします。

田原ガバナーにおかれましては、去る7月10日に行われました当クラブ創立60周年の記念式典にあたり、温かいメッセージを頂きましたことに厚くお礼申し上げます。さて、今年度のジョン・ジャームRI会長のテーマは「人類に奉仕するロータリー」です。そして本地区田原ガバナーが設定された地区方針は「奉仕の中にこそ幸福と平和がある」であります。田原ガバナーは、8つの地区重点方針などをあげられておられますが、中でも職業奉仕の実践強化とがん予防の推進を強調されております。その中でわが宇部RCは、「奉仕を通じて、会員の健康と結束を考えよう」というテーマを掲げました。当クラブでは、今年度は、特にがん予防の推進を重要テーマとしております。会長の時間を利用して、胃がん検診、前立腺がん、そして大腸がんについて私が卓話をしました。また、外部卓話としまして山口大学病院腫瘍センター 吉野 茂文 准教授に「がんになっても安心して暮らせる社会を目指して」を、地区がん予防推進委員会 篠崎文彦委員には「がん予防、検診による早期発見と治療について」の外部卓話をして頂きました。さらに当クラブのがん予防推進委員会 山本 徹 委員長により「がんの早期発見・早期診断～腫瘍マーカーによる早期診断～」というタイトルで内部卓話を行いました。先週は、萩の金谷天満宮 陽 信孝宮司をお迎えして「4度のがん手術を経験して」というがん患者サイドからの外部卓話をして頂いております。また、がん予防に関するアンケート結果を神谷委員に集計して頂きましたが、喫煙率は約13%でした。

地区のがん予防の取り組みは3年間の継続事業ですので、これからも会員の健康を守る目的でがん検診の受診勧奨やがん予防の啓蒙活動を粘り強く行うとともに、会員の家族や会社さらには地域を巻き込んでがん対策を発信するつもりです。また職業奉仕の実践につきましては、まず例会出席が重要であり、いろんな方々方の卓話を聞いて職業倫理を学ぶことが基本と思います。今年度から「四つのテスト」に加え、「ロータリアンの行動規範」を例会で復唱して職業倫理を高めています。さらに自分の職業を通しての社会奉仕活動を展開すること

によって地域に貢献したいと考えております。

さてこの後に、ガバナーのお話が聞けますことを大変楽しみにしております。
ご来訪頂きました田原ガバナーに感謝申し上げ、会長の挨拶とさせていただきます。